



●様々なテーマで「協同」をめざして

これまで懇談会を継続してきた中で、マイバッグ持参の環境活動や消費者問題等、平和活動では県内全市町の平和首長会議加盟につながるなど、消費者運動をすすめる生協への理解にもつながっています。高齢者を中心とした見守り協定や、災害時にすみやかに物資供給を支援する災害時物資協定の締結もすすみ、2016年には山口県を含むすべての市町との調印が締結されました。

懇談会の積み重ねにより、地域の活性化をめざす包括連携協定

の締結もすすみ、2020年度は新たに萩市、周防大島町と調印式が執り行われました。(詳細は9ページ)また、市町の福祉窓口への訪問に取り組む中では、社会福祉協議会との連携も深まり、つながりづくりがすすんでいます。

今回の懇談会では、市毎に組合員の声を元にテーマを設けて話し合いが行われ、参加した組合員さんから報告をいただきました。(掲載は開催順。氏名は開催当日のものです。)

下関

テーマ「防災について」 「下関市とのつながりについて」

防災士の資格がある組合員からローリングストック法や防災食について話をさせていただき、高齢者の防災についても意見交換をしました。市とのつながりづくりとして、ここと新下関店に設置したレシピ(健康推進課作成)がとても好評なことをご報告。また、「ここサポ」のチラシを市役所などへ置かせていただけないか伺ったところ、地域活性化包括連携協定の話題にもつながりました。

今回は短い時間での懇談でしたが、市長が連携した取り組みに前向きにお話くださいました。これからも情報交換を行い、地域が元気になるよう、つながりを大切にしていきたいです。



▲前田晋太郎 下関市長(左から4人目)と。(11/20)

防府

テーマ「防災について」

市長から、「行政としては市民の命を守ることが使命ですが、「共助」「公助」が活きてくるのも、まず「自分が助かりたい」という気持ちがあってこそその自助が大切なんです」というお話を伺いました。コロナ禍ということもあり対策として、可能な限り多くの避難所を開設することや、ホテルとも連携して避難場所を確保されたとのこと。防災士の育成や学習会の実施など積極的な取り組みをお聞きし、心強く感じました。

後日、地域で開催した防災準備学習会では、市が実際に扱っている防災ラジオの紹介にもつながりました。今後も防災の一環として、いざという時に助け合える関係づくりを事業や活動を通じて広めていきたいと思ひます。



池田豊 防府市長(左から3人目)と。(11/25)

萩

テーマ「食育活動について」

これまで地域の実行委員会で進めてきた食育活動を中心に、子育てひろばやここサポについて紹介しました。行政と協同で叶えたい企画など意見交換し、食べるだけでなく調理や故郷の味など、子どもたちに食育を通して様々なことを学ぶ機会ができればと思ひます。

また、市から「子育てしやすいまちづくり」をめざしている中で、子育て中の方向士で悩みを分かち合ったり集まって話せる場づくりに生協の力を借りたいとのお話がありました。包括連携協定の一環として、



▲藤道健二 萩市長(前列中央)と。(12/18)

他団体とも連携した子育て応援を組合員としても一緒に考えていきたいと思ひます。

周南

テーマ「女性活躍と子育て支援」

男女共同参画に向けて、男女の性差は認めつつ、各個人が得意分野を活かして協力していくことなど考え方のヒントを市長よりいただきました。「女性だからできない。ではなく、やってみようという気持ちが一番!」という、県内唯一の女性市長の言葉には説得力がありました。生協は女性が主体的に活躍できる組織。これまで生協が取り組んできたことや私たちが今取り組んでいる様々な活動に理解と励ましのお言葉をいただき、今後も自信をもって活動していけそうです。

子育て応援や買い物支援、地域づくりの推進等、行政が抱える課題の解決に事業と組合員活動の両方で取り組めることを



▲藤井律子 周南市長(中央)と。(12/23)

を継続して協議していきたいと思ひました。